

令和7年度 滋賀県市議会議長会 定例議員研修会について

- ・ 日 時 : 令和8年1月22日(木) 午後2時から
- ・ 場 所 : ガリバーホール(収容人員 498人)
(高島市勝野670 TEL: 0740-36-0219)
- ・ 講 師 : かわむら かずのり 河村 和徳 氏(拓殖大学政経学部 教授)
- ・ テ ー マ : (仮)議員のなり手不足と地方議会改革について

【講師略歴】

1971年静岡県焼津市生まれ。1990年静岡県立藤枝東高等学校卒業。

1998年に慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程を単位取得退学。

慶應義塾大学専任講師(有期)、金沢大学助教授、東北大学准教授を経て現職。

専門は、政治学。日本の地方選挙、地方自治を専門に研究している。

2011年以降は、復興と政治、民主主義のDXについても研究している。

コロナ禍において全国都道府県議会議長会デジタル化推進委員会座長を経験し、

全国都道府県議会議長会主権者教育リーフレット有識者会議 委員も務める。

投票環境の向上方策等に関する研究会委員をはじめ、選挙ガバナンス関連の役職も歴任。



主要著書に、『電子投票と日本の選挙ガバナンスーデジタル社会の投票権保障(慶應義塾大学出版会、2021年)』、『東日本大震災からの復興過程と住民意識ー民主制下における復旧・復興の課題(共著、木鐸社、2021年)』など。また地方議員向けの書籍として、2024年9月『地方議員のための選挙トリビア(中央文化社)』を出版。

なお、現在、『月刊選挙(編集:都道府県選挙管理委員会連合会)』にて「新型コロナ禍における選挙ガバナンス」を連載中。